

(別紙)

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
①	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<p><コメント></p> <p>法人が発するパンフレット、ホームページ、事業所ガイド、事業計画及び事業報告等あらゆる媒体物に法人の理念等が発信されている。また、会議等で職員へ発信がされている。課題としては保護者及び利用者への周知伝達についてが、挙げられる。</p>		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
②	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<p><コメント></p> <p>法人幹部職員については、法人を取り巻く情勢、社会環境等認知がある。翻って職員アンケート&ヒアリングでこの点についての認識を確認するが、管理者サイドの認識とのずれがあると考え。この点今後の課題として職員への経営情報、障害者施設を取り巻く社会的な環境について理解を深める努力が必要と思慮する。</p>		
③	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<p><コメント></p> <p>一部の管理者や為政者においては、認知されているが図に同じく、職員間に問題や課題の共有化があると望ましい。職員は現場での業務遂行に埋没しがちであるが、自らが就労している法人の情報については興味があり、知りたがっているのがアンケートからも読み取れる。組織に対する帰属意識を深める意味でも、また職務に対する社会的使命を持ってもらう意味でも肝要と思う。</p>		

Ⅰ-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
④	Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<p><コメント></p> <p>閲覧した資料で中長期の法人の目指すべき方向やビジョン等は確認できなかった。法人内で各種委員会が多岐にわたり設置されているが、法人の未来像や経営の方向性を総合的</p>		

に検討され、答申され、計画され、職員に周知するような仕組みが確認できなかった。本部の経営企画部で中長期計画策定委員会があり策定されていると思われるが、職員の認知度は低い。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p><コメント></p> <p>法人及び事業所の単年度事業計画及び事業報告については、分析され・整理され・目標化されている。</p> <p>計画の中に課題を目標化されているのは評価できる。ただ、その納期、遂行責任者、計数化への工夫等単年度の事業計画は定量評価しうるよう具体的に遂行プログラムに裏打ちされた実行計画が望まれる。年度で新規に取り組む事業や労働環境整備、地域福祉は事業所単位の取り組みを明示した計画等が良いと思う。併せて事業計画の中間評価がどのようにされているのか？見直しについての痕跡が確認できなかった。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント></p> <p>事業所の計画は具体性があり良くできている。事業所の事業計画作成は職員との討議の積み上げで策定されているようであるが、職員の参画認識が薄いようである。</p> <p>その遂行のマイルストーン等状況の常に計画を意識した日常行動であるか等チェックと年度末にその結果のフィードバックの仕組みがあると良いと思う。</p> <p>計画の作成責任は構成員の職員が全体で負う仕組みにより、全員参加型の事業計画であれば組織の活性化につながると思う。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b
<p><コメント></p> <p>施設から利用者自治会、保護者会等の機会で事業所の年次計画等概要説明を通して、一層の保護者の施設事業の理解促進を図られたら良いと思う。あるいは保護者アンケート等実施時に施設の事業計画等を発信することも一策と考える。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント></p> <p>組織的、定期的に職員との協議の場が設定され、アセスメント、モニタリング等サービス向上に向けての取り組みに対する記録とそのプロセスの可視化を再考されたい。日常の中にサービスの課題があり、その共有化は職員とのコミュニケーションの場に発見や気づきがあるもので日ごろからの職員の間関係に配慮し、ヒヤリハットの事例を共有できるようにされたらと思う。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確	b

	にし、計画的な改善策を実施している。	
<p><コメント> 今回の第三者評価を受けるにあたって全職員参加で自己評価の策定であったか?また、事業所として定期的に自己評価をしているか? 出来るだけ単調な業務遂行に陥らないため、唯我独尊の経営にならないためにも、また事業の健全性、職員の自覚を促すためにも事業所としての自己評価シート(簡易版でも)で職員自身に問いかける自己の職務を見つめる施策を検討願いたい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p><コメント> 生活支援事業、就労支援B型事業の複合業務で限られた職員をよく統率し、使命感と責任感を以って管理者業務に取り組んでいる。 特に利用者の収入向上に対して事業展開を常に考え、試行錯誤の中で改善努力をとしている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p><コメント> 福祉事業としてのコンプライアンスについては、虐待防止チェックリスト等で利用者擁護、人権問題等に研修や日頃の職員指導が行き渡っている。その他法人全体の研修や委員会活動に積極的に参加、一人ひとりの職員のスキルアップを推進している。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント> サービス向上に向けて全職員参画のもとで取り組む事業所としての体制整備の構築を提案する。ややも、すると現場業務に埋没して福祉サービスの原点の認識が薄まることもあるので事業所内の課題を自由に議論し、改善する機会の設定を期待したい。 現場力を高めるためには、一人一人の職業使命感とスキルアップであり、「仲間と共に成長する職場作り」を墓標として取り組んでいただきたい。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<p><コメント> 職員アンケート及びヒアリングにおいても、職員参加の基の改善討議が薄い感を持った。 現場での職員のヒヤリハット、精神的ストレス等を発散できる場や第三者的相談窓口の設定が必要と感じた。相対的に職員の職務に対する満足度は高いが、職員が孤立しないような対</p>		

策の為にも事業所内でのサービス向上委員会等での闊達な発言ができる職場風土作りを望む。

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<p><コメント></p> <p>法人全体の問題になるが、職員の不足、専門職の配置等の課題がある。B型10名、生活介護20名の利用者の支援としては、ぎりぎりでありサービスの質の担保を確保するためにも人材の育成と採用を本部と協議して増員が望まれる。事業所の研修計画や事業所内の勉強会等計画的、具体的に策定されることを期待する。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	b
<p><コメント></p> <p>法人全体での人事管理は確立されている。が人事考課についての職員へのフィードバックについては、職員に周知されていないようである。</p> <p>出来る限り、職員面接等を通して個人の年度目標と達成した場合の評価や職員の育成教育に取り組み成長評価等の仕組みの理解を心掛けていただきたい。</p> <p>昇進昇格が魅力あるものと思われる人事制度作りを望む。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
<p><コメント></p> <p>法人及び施設管理者は職員が働きやすい労働環境づくりに取り組んでいる。職員アンケートやヒアリングでメンタルヘルスとワークライフバランスに配慮した制度整備と運営について課題として指摘したい。ただその具体的対応は法人全体での問題である。現状では現場レベルではできる事をしている。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>これも法人全体としては人材開発部が中心となって職員の研修、各種部会・委員会でスキルアップのサポートをしている。事業所単位での独自の研修や勉強会等の計画は事業所の事業計画では明らかにされていない。全体研修もさることながら日頃の現場での身近な研修が定例化されることを期待したい。</p>		
18	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p><コメント></p> <p>法人としてあるいは事業所としての職員一人一人の個別育成計画等があっても良い。(人材開発部が組織としてあるがその職責と機能は未調べ)また、専任の教育指導セクション(委員会レベ</p>		

<p>ルではなく)でOJTの在り方、新人職員の育成制度(プリセプター、メンター、ペアレント等)の年間個別教育プログラムを作成して職員の成長を支援する仕組みの創設を期待したい。また、職員一人一人の研修(教育)記録簿等があり、育成過程が可視化され、事評価に連動するような仕組みが望まれる。</p>		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b
<p><コメント> 法人として定められた年間研修計画に則って職員が履修する仕組みが確立されている。事業所単位でも各種委員会の報告書、感染症、ヒヤリハット、安全管理等実務は随時伝達する仕組みで職員の教育機会は実践されている。 むしろ現場での研修に本部が出向き、養育指導する体制整備が望まれる。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p><コメント> 個別事業所としての実習生受け入れ等を行っていない。すべて法人本部が窓口で、法人本部からの依頼があれば、受け入れる流れである。 法人の事業計画で地域福祉部が受け入れ窓口で、令和4年度は20名の実習生の受け入れ実績である。どの事業所に何名、何日等具体的な表示と実習指導者、マニュアル等について事業報告で言及されたら良いと思う。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<p><コメント> 社会福祉法75条で求められている情報公開については、法人全体、個別事業所ともに社会に発信している。特にホームページにおいて、法人全体の社会的使命や理念および各事業所の紹介も解りやすく案内されている。また、第三者評価も積極的に受審、広く一般に対して情報発信をしている。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<p><コメント> 法人としての規定・マニュアル等および組織内の職務分掌等が整備され、かつ利用者・保護者に対する説明ツール等よく整備され利用者本位のサービス提供体制が確立されている。それに沿って事業所レベルも整備されている。 内部監査、第三者評価受審の公表もあり適切に運営されている。 苦情・相談内容等の公表について職員や保護者に公表する仕方について工夫があると良い。</p>		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>法人本部に地域福祉部があり、人としての地域福祉推進がされている。地域連携について事業計画 14 に計画目標が 13 項目示され、計画と報告との連動性が欲しい。常に新しい取り組み、連携・共同事業化の企画等が望まれる。</p> <p>当該事業所の年度計画にも地域交流計画で謳われている。計画の実行計画やアクションプログラム、時間軸、達成成果。推進責任者等が具体的なものが見えない。</p> <p>年度計画に抽象的文言ではなく、具体的取り組み方針を入れて計画建てされたら良いと思う。</p>		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、制を確立している。	b
<p><コメント></p> <p>地域福祉推進部がボランティアの受け入れ管理等をしているとうかがわれる。</p> <p>事業所の計画には触れられていない。保護者会、地域交流計画で「農作業を通しての地域連携」として近隣農家とのボランティア依頼、隣接高校等のボランティアの復活と定期化等課題を抽出して実施されることを期待する。</p>		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
<p><コメント></p> <p>事業所単独の地域機関との直接的関係の状態性は確認できない。地域との窓口は原則法人本部であり、法人本部では地域福祉推進部が窓口で行政、学校、地域団体等との連絡調整を図っている。</p>		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b
<p><コメント></p> <p>事業所としては地域美化活動に参画して地域との交流を図っている。今後の課題としては、地域ニーズの収集のために地域の民生委員・児童委員・婦人会・学校関係者等の定期的な情報交流会で地域のニーズについて検証することを期待される。</p> <p>法人としては、地域交流センターの地域への開放し、地域団体等が活用されている。</p>		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>法人としてはミュージックケアの実践(高齢者施設や児童施設等), DWAT 登録で災害支援、地域交流事業(ランチ・ディナーコンサート等)、生活困窮者支援事業等を定期的実施している。</p> <p>当該事業所も法人の事業所としてこれらの活動に参画している。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービス施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>利用者を尊重した福祉サービス提供に関する「倫理綱領」や規定等に策定され、利用者の尊重や基本的人権への配慮について、勉強会や研修を定期的実施している。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>利用者のプライバシー保護や虐待防止に関する規定・マニュアル等が策定され、職員は定期的に勉強会等を開催して理解が図られ、管理体制の徹底に取り組み、サービスの提供が行われている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p><コメント></p> <p>理念や基本方針、実施する福祉サービスの内容や福祉施設・事業所の特性等を紹介し資料は公共施設等の多くの方が入手できる場所に置かれている。</p> <p>施設や事業所の利用希望者については丁寧に説明し、見学・体験入所・一日利用等の希望に対応し、必要な情報を積極的に提供している。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b
<p><コメント></p> <p>サービス開始・変更時には、利用者がわかりやすいように工夫した資料を使用して説明して、同意を得たうえでその内容を書面に残している。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>担当職員は福祉サービスの内容や福祉施設・事業所の変更、地域・家庭への移行等になった時は、相談員と連携して丁寧な説明をして福祉サービスの継続性に配慮して対応している。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>毎年ではないが意向調査等のアンケートを実施している。職員も参加して、毎月一回利用者自治会を行い利用者からの意見や要望を聞き取り、利用者サービスの向上に取り組んでいる。意向</p>		

調査等のアンケートも毎年できるよう取り組みを期待します。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p><コメント></p> <p>苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備され、苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した資料等を利用者本人や家族に配布している。苦情内容に関する検討内容や対応策については、利用者や家族に必ずフィードバックしている。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	b
<p><コメント></p> <p>写真や絵ホワイトボードを活用するなど、利用者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文章を作成し配布して、相談スペースを確保している。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p><コメント></p> <p>意見箱は設置され、苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等も整備されている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p><コメント></p> <p>法人は万一の場合を想定して保護者と利用者へ緊急メールネットワークの構築を推進している。保護者会等においてその仕組みの説明と登録に取り組んでいる。また法人開発の「サポートファイル」や「ヘルプカード」等利用者の災害時のツールのあり、保護者・利用者・事業所と情報の共有化をしている。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>非常勤看護師がおり日常の利用者の健康管理にあたっている。また、職員に対して感染症の研修、実施指導等を行っている。</p> <p>緊急時の医療機関との連絡・調整体制も整備され、かつラインによる保護者への体制も整備されている。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>リスクマネジメント委員会、BCPの作成、避難訓練、設備の安全点検、利用者向けのサポートファイル等で日ごろから災害対策について取り組み、職員アンケートやヒアリングでも意識</p>		

も高い。

事業計画に掲載された福祉避難所開設による地域との連携もされている。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b
<コメント> 標準的な実施方法については文書化され、利用者の尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関する姿勢が明記され、それに基づいて福祉サービスが実施されている。		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<コメント> 定期的にモニタリング等を実施し、実施されているかどうかを書類で確認する仕組みがある。検証・見直しにあたり、職員や利用者等からの意見や提案が反映される仕組みになっている。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a
<コメント> 利用者一人ひとりの福祉サービス実施計画（個別支援計画）を策定するための体制が確立しており、取り組まれている。各部署と連携を取り様々な職種の関係職員が参加してアセスメント等に関する協議を行っている。		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	b
<コメント> 個別支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、利用者の意向と同意を得る為の手段等、組織的な仕組みを定めて実施できている。個別支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを随時、できるよう今後整えられることを期待します。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
<コメント> 利用者一人ひとりの福祉サービス実施計画（個別支援計画）に基づくサービスが実施されている事は記録によって確認できるが、記録する職員で記録の内容や書き方に差異が生じない様に、記録要領の作成や職員への研修や指導等期待します。		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b
<コメント> 利用者に関する記録の管理について規定が定められ管理が行われている。記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対して教育や研修が行われているが、理解度に職員により差異があり、定期的な研修を期待します。		

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A①	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>利用者一人ひとりへの配慮が個別支援や取り組みを通じ具体化されている。利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重し、支援を行っている。利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会を設けられている。継続を期待します。</p>		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
A②	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
<p><コメント></p> <p>利用者の権利侵害の防止等のため具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知を行い、職員に対して虐待防止研修を定期的に行い職員が具体的に検討する機会を設けている。</p>		

A-2 生活支援 対象外

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A③	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	A・b・c 対象外
<p><コメント></p> <p>対象外</p>		
A④	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	A・b・c 対象外
<p><コメント></p> <p>対象外</p>		
A⑤	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	A・b・c 対象外
<p><コメント></p> <p>対象外</p>		
A⑥	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	A・b・c 対象外
<p><コメント></p> <p>対象外</p>		
A⑦	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	A・b・c 対象外

<コメント> 対象外		
A-2-(2) 日常的な生活支援		
A⑧	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	A・b・c 対象外
<コメント> 対象外		
A-2-(3) 生活環境		
A⑨	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	A・b・c 対象外
<コメント> 対象外		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A⑩	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	A・b・c 対象外
<コメント> 対象外		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A⑪	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	A・b・c 対象外
<コメント> 対象外		
A⑫	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	A・b・c 対象外
<コメント> 対象外		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A⑬	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	A・b・c 対象外
<コメント> 対象外		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A⑭	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	A・b・c 対象外
<コメント> 対象外		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A⑮	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行	A・b・c

	っている。	対象外
<コメント> 対象外		

A-3 発達支援 対象外

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
A⑯	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	A・b・c 対象外
<コメント> 対象外		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
A⑰	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	b
<コメント> 作業活動に追われているが、利用者の一人ひとりの働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。利用者の意向や障害状況に合わせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得、地域の企業、関係機関、家族等の連携・協力のもとに就労支援を行っている。		
A⑱	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	b
<コメント> 利用者一人ひとりの意向や障害状況に応じた仕事時間、内容、工程等を適切な仕事内容となるよう取り組んでいるが、内職等に近い賃金ではなく、賃金（工賃）をアップにむけて目標を立てて、取り組んでいる。出来れば一次産業だけでなく、二次産業へとなるような取り組みを期待する。		
A⑲	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	b
<コメント> 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っているがまだ改善の工夫が求められる。障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行い、利用者の障害状況や働く力に合わせて、利用者と企業マッチングなど就職支援に繋げて頂きたい。		